

2023年8月30日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

そして、愛される信頼される J A を目指して、誠実に、着実に歩みます。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

夢みなみ農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2023年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:0)	3 (前年度末:0)
株式型	3 (前年度末:0)	5 (前年度末:0)
REIT型	2 (前年度末:0)	2 (前年度末:0)
バランス型	7 (前年度末:0)	

※ 公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を厳選しました

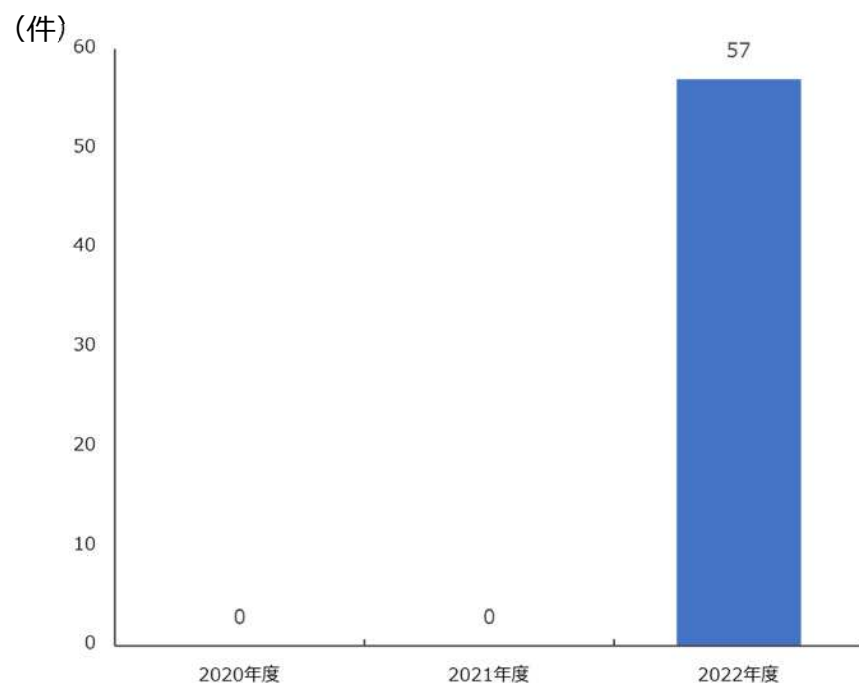
※商品選定の考え方:JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

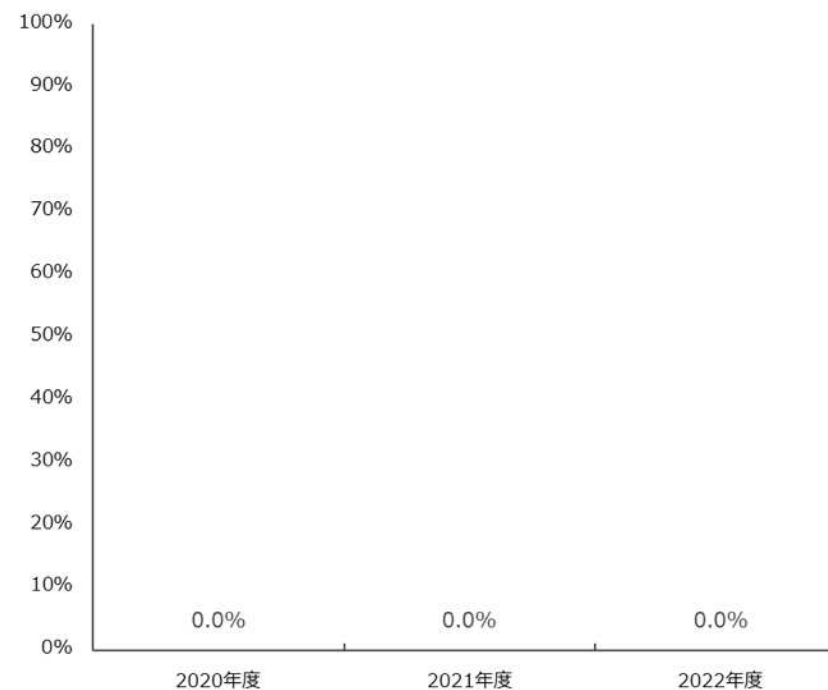
2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、多くのお客様が「投信つみたて」を利用し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様はおりませんでした。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I. 取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年10月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ

2023年4月17日

左からリスクの小さい順に並んでいるんだね！

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね！

おふん、おペアちゃん

おふん、おペアちゃん

おふん、おペアちゃん

おふん、おペアちゃん

① コア・サテライト 戦略について

保有する資産を守り「コア(中核)資産」と
攻めのサテライト(衛星)資産に分けて運用する方法

＜イメージ＞

コア
＜長期的な運用を目的する「バランス型ファンド」や「安定型の債券ファンド」など＞

サテライト
＜個別にニーズに応える「単一資産ファンド」など＞

債券、株式、REIT

② JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を選別しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性 これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては、過度に分配金を提出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって最善の提案を目指し、投資信託を選別しているんだね！

③ 当組合の基本情報

（当組合はお客様に金融商品の販売「又は販売仲介」をする者です）

組合名	夢なみ農業協同組合
登録番号	東北財務局長（登録）第110号
加入協会	ありません
当組合の概要を記したウェブサイト	https://www.ja-yumemini.or.jp/

④ 取扱商品

（当組合がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

行名（投資性なし）	○	○	○	○
国内株式	-	-	-	-
円建債券	-	○	-	-
特殊な債券（仕組債等）	-	-	○	-
ファンドラップ	-	-	-	-
REIT	-	-	-	-
保険（投資リスクなし）	-	○	○	-
これら以外の商品	-	-	-	○

※他に其済を取っております。

⑤ 商品ラインナップの考え方

（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

JAバンクでは、いろいろな「投資に関する好み」に合った商品を揃え、お客さまにとっての選びやすさも考慮し、一定の商品数を絞った「JAバンク セレクトファンド」をご用意しております。

「JAバンク セレクトファンド」のラインナップは、主に以下の基準をもとに商品を選定しております。選定にあたっては外部有識者の知見も踏まえ検討しており、定期的な各商品の運用実績などのモニタリングも行ってあります。

- ① 長期投資 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること（いわゆるテーマ型ファンドではないこと）
- ② 手数料 手数料が良心的な水準であること
- ③ 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- ④ 将来性 これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては、過度に分配金を提出する投資信託ではないこと
- ⑤ 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

上記の考え方については、ホームページにも掲載しております。
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

※なお、投資に関する好みについては、JAバンクでは、都度組合員・利用者の皆さまのリスク許容度（※1）を確認し、リスク許容度に沿った個別商品をご案内しております。

※1：リスク許容度は、どの位の儲かさを許容できるかを事前に診断するもので、JAバンクでは、リスク許容度を4段階

⑥ 苦情・相談窓口

当組合お客様相談窓口	0248-94-2317
加入協会共通の相談窓口	ありません
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811 (03-5251-6811)

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- JAバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 当組合では、特に利益相反が生じやすい場面でも、重要情報シート等を活用し、商品間の比較検討を行いやすい仕組みとしております。また、月次・年次の定期モニタリングにより適切な管理を行っております。

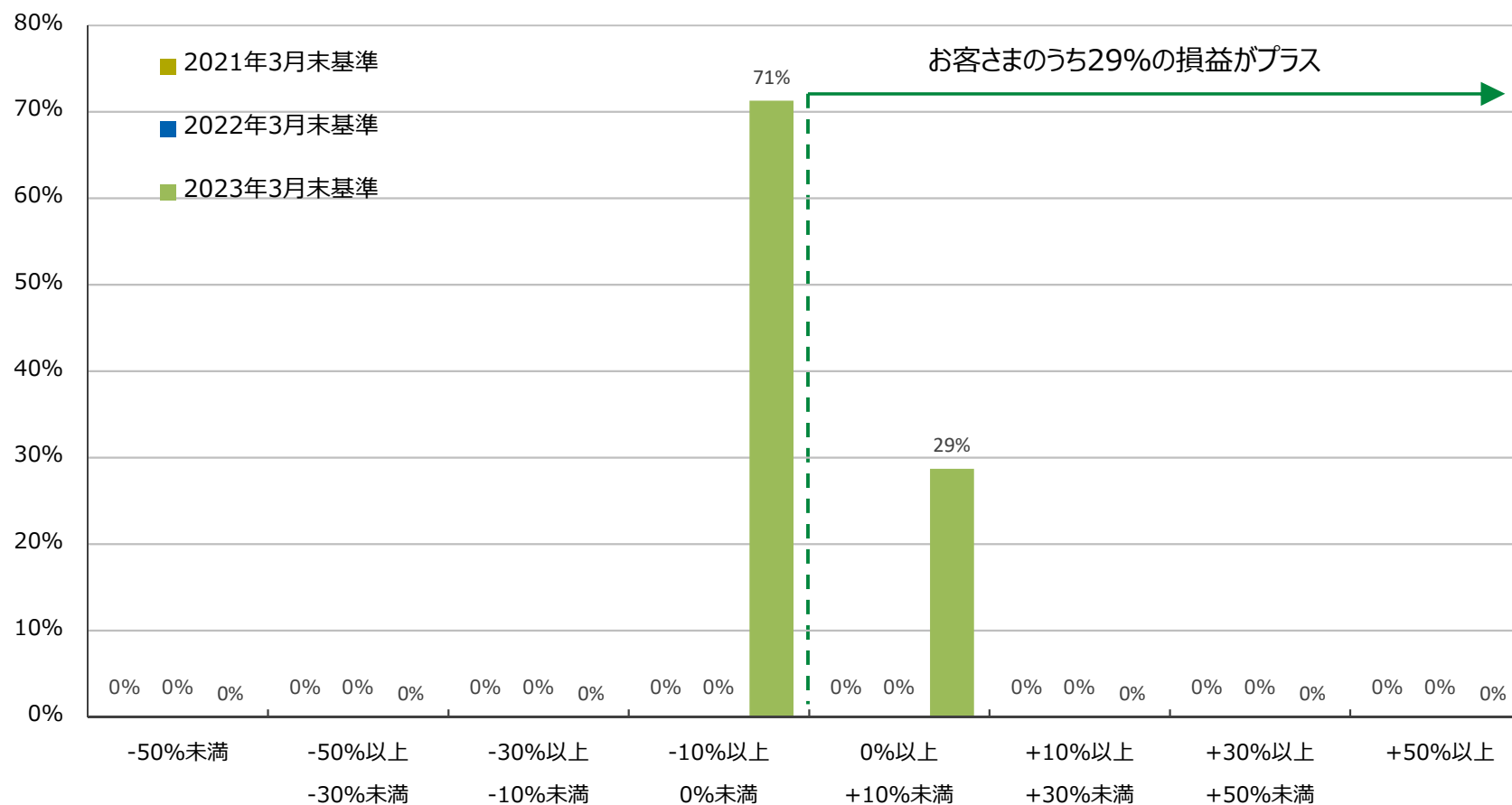
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

- JAバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。
- JAバンクではWebで視聴できる研修動画コンテンツを備えており、動画視聴による各職員の知識習得やスキルアップを通じて、提案力強化を行います。また、取引内容にかかる支店での毎月の自主点検や、取引にかかるモニタリングを実施し、お客さま本位の業務運営を確立するための体制を整えています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の29%のお客さまの損益がプラスとなりました。

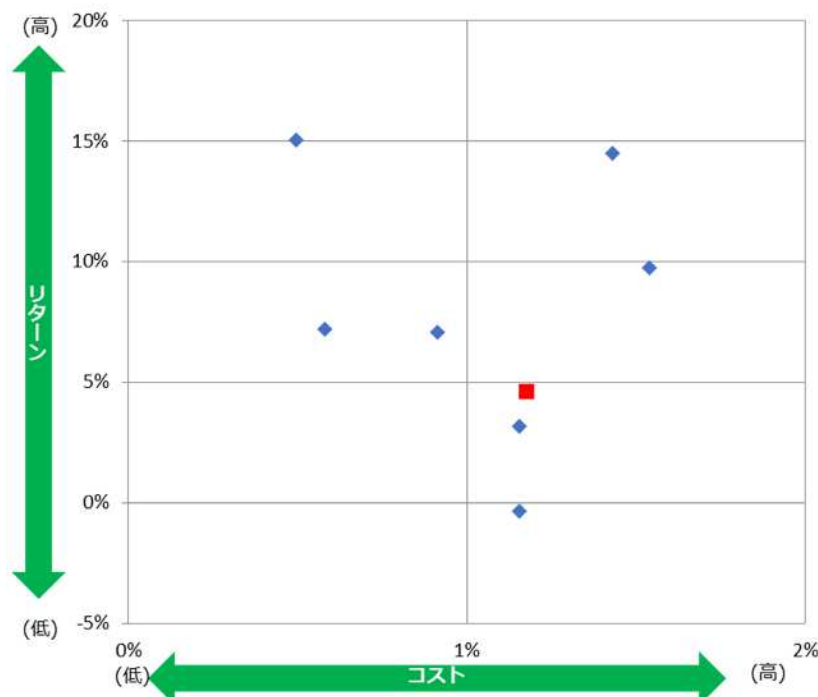


Ⅱ.比較可能な共通K P I

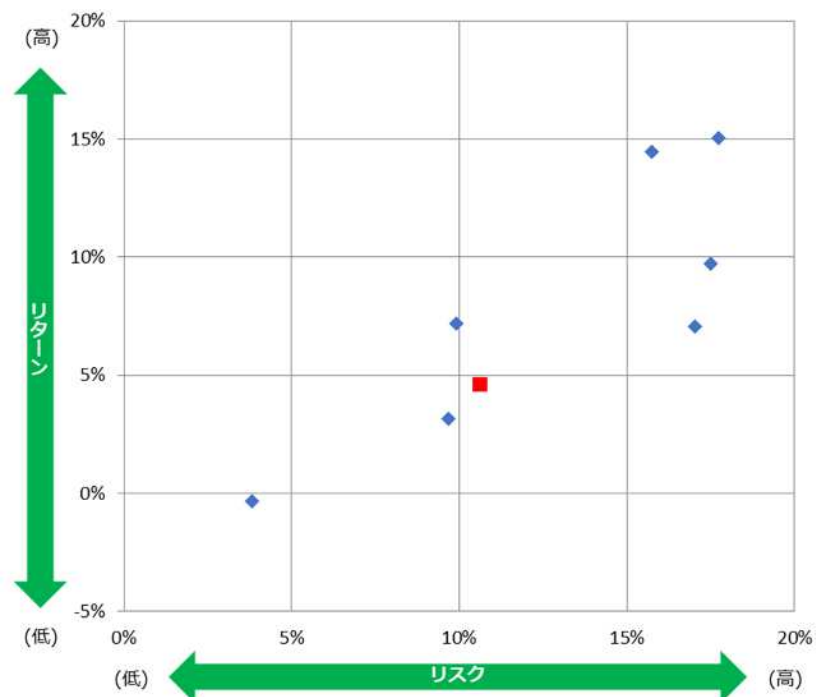
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.18%、平均リスク10.61%に対して、平均リターンは4.60%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
6	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.60%	10.61%	1.18%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は7本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。